

法人会は「健全な経営・正しい納税・社会に貢献」をテーマに活動する経営者の団体です

法人会広報

めざします。「みんなの法人会」

社団法人栗原法人会

Photo:ブルーギア株式会社
瀬峰工場のみなさん



- 企業リレー
- 活動レポート 平成23年11月～平成24年1月

新春提言

「謙虚な学びこそが競争力の源泉」

経営ジャーナリスト 足田文明

東日本大震災により被害を受けられました皆様方に、
心からお見舞い申し上げます。
事態の改善と、被災された方々が一刻も早くお元気になられますよう
心よりお祈り申し上げます。

謙虚な学びこそが競争力の源泉

経営ジャーナリスト

疋田文明

いまほど、組織ぐるみで知恵を出し、それを行動に移すことが求められている時代はない。

こう書き出せば、経営者のみなさんは、「そんなことはわかってる。だからこそ、従業員に知恵を出せ」といっているのだが、出てこないから困っているのだ」と、おっしゃるに違いない。では、部下に知恵を出させるためにはどうすればいいのか。

まずは、可能な限り、指示・命令を出さないことだ。指示・命令を出すのは、考えずにやれ、というのと同じこと。

指示・命令を多発しながら、一方で考える、知恵を出せというのは矛盾もはなはだしい。

ただ、指示・命令を少なくすることで出てくる知恵には限界がある。次にやるべきことがある。それは、単純な問いを発することだ。いまのままなのか、違う方法はないかどうか、常に問いを投げかければ、必然的に、部下は考えるようになっていく。

学習が知恵の限界を超える

しかし、ここまでやっても、出てくる知恵には限界がある。では、絶え間なく知恵が出てくるようにするには

どうすればいいのだろうか。

その答えは、2500年も前に、孔子が教えてくれている。孔子は、論語の中に次のような言葉を残している。

「吾嘗て終日食らわず、終夜寝ず、以つて思う。益なし。学ぶにしかず」(私はかつて、一日中食事をせず、一日中寝ることもしないで、考えたことがあるが、得るものは何もなかった。やはり、学習には及ばない)

孔子のような人物でも、ひたすら考え込むだけでは、なにも得るところがなく、学習に勝るものはないという。

これは、知恵を出そうと思えば、その前段階としての学習が不可欠だとの教えた。孔子ばかりではない。優良な経営者も異口同音に学習の大事さを説いている。

20世紀最高の経営者とも、学習マシンとも称されたGEのウエルチは、「学習こそが競争力の源泉」といい、日産を再建したカルロス・ゴーンは、「会社が成功するために最も大切な要素は、社員ひとりひとりが常に学習する姿勢でいることだと思っています。学ぶことが大切なのは、個人だけではなく、企業も同じです。私は、日産自動車50年後も成長する健全な会社であり続けるためには、会社全体が学習する組織であり続けることが最も重要だと思っています」と語つ

ている。

しかし、なぜそれほどまでに企業経営で学習が重きをなしているのかについては、私が知る限り、二人は話していない。

ところが、この問いに見事に答えていた人がいる。

その人は、「日本人とユダヤ人」等々の著書で知られる山本七平だ。

山本は、「質のいい記憶の量を増やせば増やすほど、その人間の発想の総量は増えていく。天才とは、普通の人が結びつかないと思っているいくつかの概念を結びつけることのできる人だが、天才といえども、結びつけるべき諸概念を持っていない限り、新しい発想はできない」という。

昨年上ったアップルのステイブ・ジョブスは、「一点と点が結び付くことで画期的なものが生まれる」と指摘しているが、これは山本さんの考えと同じといえる。

学習することで、質のいい記憶の量が増えれば、それにつれて発想が豊かになるといふ山本さんの指摘は、本当に納得できる。

2008年にノーベル賞を受賞された方が、「風呂に入ったときにひらめいた」と話されていた。

たしかに、ひらめいた場所は風呂だったのだから、その前段階として、様々な概念を頭に植え付けてあったから

こそ、アイデアが生まれたことを忘れてはならないと思う。

企業経営では、知恵が競争力をもたらすが、知恵は学習することで初めて出てくるものだということに、まず理解しておくべきなのだ。

「考える、知恵を出せ」というだけでは、無限に知恵はでてこない。

組織ぐるみで知恵を出そうと願うのなら、速回りに思えるかもしれないが、社員それぞれが学習するしかない、筆者は考えている。

挑戦が学びと知識を育む

では、企業人はどのようにして学べばいいのだろうか。まず、耳を傾けていたいただきたいのは、カルロス・ゴーンの次の言葉だ。

「大学で勉強すればいいのではありません。それは違います。私は、大学に7年間通いましたが、そこで学んだことで役に立ったのは2%ぐらいしかありませんでした。人間は経験を通じてこそ多くを学ぶことができます。」

単純には、経験、仕事を通じて学べばいいと考えればいい。

しかし現実には、経験、仕事から学べる人とそうでない人がいる。違いはどこにあるのだろうか。

ここでもゴーンの考え方が参考になる。

「ただ漫然と仕事をしているだけではダメです。難しい問題、高い目標そして厳しい課題に挑戦しなくては

築館 ブルーギア 株式会社

企業リレー

【毎月表紙を飾っていただくのは各企業の社員さんです。】

今回は、築館が本社で築館と瀬峰飛行場に自動車ハーネス関連の工場を展開なさっているブルーギア株式会社との佐々木逸馬代表にお話をうかがいました。

創業は平成8年7月で、現在3つの工場には35名の従業員さんが働いています。

社名にギアとありますが現在の主力商品は自動車関連のハーネス製造が中心で、その他、人の手ではならない製造を行っています。

メーカーからの品質要求と納期、価格など厳しいイメージの自動車関連産業ですが、確かな技術で大きな信用を得られています。

佐々木さんは、飛行機の操縦資格をお持ちで、有志の方々で瀬峰飛行場の開設にあたられ、現在ヘリコプターを所有し、東日本大震災では空からの支援を行い新聞でも紹介されました。

東日本パイロット協会の会長でもあり、「瀬峰秋・夢まつり」の開催など地域活動も積極的に行っています。

【表紙写真】

朝礼後の瀬峰工場で。

◆次号登場企業紹介

次号は有限会社 築館クリーンセンター 会長大場一豊さん(佐々木さんの紹介)

なりません。なぜなら、人は課題があつて初めて自分で考えるようになり、それに果敢に挑戦すればするほど、早く学習でき、知識が育まれるからです」

問題意識がなくて漫然と仕事に取り組んでいたのでは、いたずらに体験を積み重ねていくだけで、何も学ぶことはできない。

「なぜ、この工程が必要なのか、この仕事の問題点はないか、お客様はなぜあんな発言をしたのか」等々、問題意識をもって仕事に取り組むと、仕事そのものが学習の場になるということだ。

筆者は、「学習企業」を目指してほしいとは言いが、難しく考える必要はない。

職場が教室、仕事が教材、顧客が先生の気持ちで、日々の仕事から学ぶ風土を築きあげていけばいいと思つている。

ただし、経験から学ぶことの限界も知つておいてほしい。

なぜなら、ひとりの人間が一生涯で経験できることは、たかが知れているからだ。

体験から学ぶことを第一歩として、次に必要なのは、他人の経験、先人の知恵に学ぶことだ。

ハーバード大のコッター教授は、松下幸之助は、聞くことで学んだ人だったと、指摘した上で次のように続けている。

「松下幸之助の言葉で好きなのは、『謙虚な心と開かれた精神があれば、

誰からも、どこからも、いつでも学べる』というものだ」

松下は自ら、「体験を通じて生きた学習を積むことができた」といつているが、体験にプラスして、謙虚に聞く耳を持つことで偉大な経営者になったのだ。

松下以外にも、学校教育を受けずに名経営者になった人は数多くいるが、それらの人に共通しているのは、体験から学び、謙虚に人の話を聞く姿勢だということも指摘しておきたい。

企業人が学習することの大事さは理解していただけたと思う。

しかし、学習が最終目的でないことはいまでもないだろう。

あくまでも、競争力の源泉となる知恵を出すために学習するのだということ、忘れないでいただきたい。

筆者は、この30年の間、数多くの勉強熱心な経営者にお目にかかったが、そうした人のすべてが成功を手にしたわけではない。

途中で、経営者失格の烙印を押された人も結構な数いる。

そうした人に共通するのは、勉強したことに満足し、知恵をだせなかつたところだ。

最後に、いまひとつ孔子の言葉を紹介して終わりたい。

「学んで思わさればすなわちくらし。思いて学ばさればすなわちあやうし」(学ばばかりで自ら考えなければ独創がない。自分で考えるだけで、学ばなければ独断に陥って危険である)

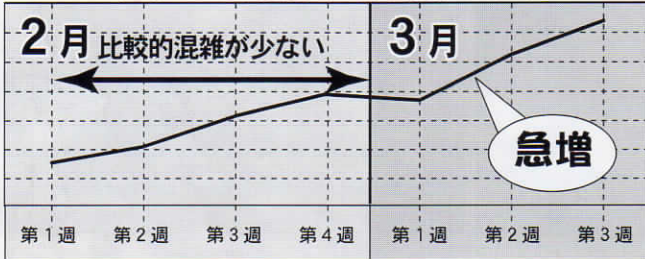
税の知識 Vol.05

平成23年度
確定申告はお早めに!
確定申告期は税務署の相談会場が大変混み合います。

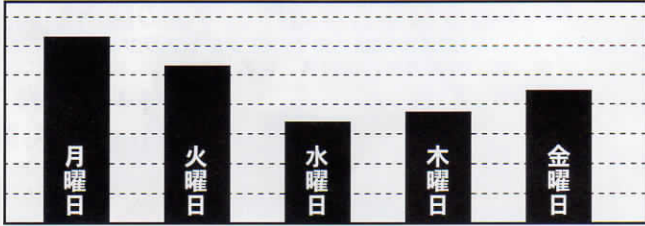
特に本年は、東日本大震災により被災された方からの雑損控除適用等に関する申告相談等により、例年以上の混雑が予想されますので、お早めにお越しください。

国税庁HP (www.nta.go.jp) の「確定申告書作成コーナー」なら、案内に従って金額等を入力すれば、ご自宅にいながら確定申告書などを作成できます。24時間利用できます。

昨年の時期別来場者数の状況



昨年の曜日別来場者数の状況



申告期限間近は大変混み合います。

公的年金等に係る確定申告について

平成23年分以後の各年分について、公的年金等の収入金額の合計額が400万円以下で、かつ、公的年金等に係る雑所得以外の所得金額が20万円以下である場合には、所得税の確定申告をする必要がなくなりました。

なお、所得税の還付を受けるための確定申告書を提出することはできます。「公的年金等に係る雑所得以外の所得」で主なものとして給与所得の場合は、給与等の収入金額が85万円を超える場合には、所得金額は20万円を超えることとなります。確定申告に関することなど、詳しくは最寄りの税務署におたずねください。



栗原法人会の活動レポート 平成23年11月から平成24年1月

11/24 Thu 《事業》社団化30周年記念事業 講演会・式典
『放射能による環境汚染』
(栗原市築館「ホテルグランドプラザ浦島」)
講師：元通産省企画官
前東京大学特任教授 進藤勇治氏
出席者：122名



式典では第一部、放射能汚染を考える時に大切なことや放射線被ばくを減らす方法・放射線物質の吸収を避ける食品等大変興味深い講演となった。第二部では法人会活動の趣旨をよく理解され当会発展のため積極的にご尽力せられた役員に感謝状が贈られた。

12/5 Mon 《税制》税制改正要望陳情
栗原市に対する行財政改革の要望
(栗原市役所 本庁舎)
参加者：会 長 阿部忠雄
税制委員長 渡邊 毅・副委員長 清水澄雄
専務理事 鈴木慎司・事務局長 菅原和江 計5名



今年度も全国で「平成24年度税制改正に関する提言」を取りまとめものを12/5栗原市佐藤勇長・12/6佐藤千昭市議会議長に対して提言し、併せて栗原市の行財政改革のその実現を訴えてまいりました。

11/28 Mon 12/13 Thu 12/14 Wed 《税制》『租税教室』
栗原市「若柳小学校」 69名
栗原市「高清水小学校」 37名
栗原市「志波姫小学校」 69名



「お小遣いで何かを買えば、子供たちも立派な納税者。税金がどう使われているのか興味をもってもらえればうれしい」と関係者は語る。



《社会貢献事業》
「税の絵はがきコンクール」 応募総数：260枚

優秀作品

税金はみんなの生活に役立ちます!

玉沢小学校6年 笠原有朝さん

その税金の使い方 本当に正しいですか?

志波姫小学校6年 菅原佑葵さん

今年度も租税教室を受講頂き応募頂いた作品を新春講演会時に掲示し、一般の皆様からの投票にて優秀作品を選ばさせていただきました。

1/23 Mon 《事業》新春講演会・賀詞交歓会
「どうなる日本政局と今後の経済動向」
(栗原市築館「ホテルグランドプラザ浦島」)
講師：時事通信社解説員 田崎史郎氏
参加者：200名



めざします。「みんなの法人会」
本年も栗原法人会をよろしく願いたします。
役員一同



優良図書
プレゼント

■部数に限りがございます。
お早めにお申込み下さい。

お申込みは
栗原法人会事務局まで

発行：社団法人 栗原法人会
〒987-2216 宮城県栗原市築館伊豆三丁目1番20号
TEL 0228-(22)2775 FAX (22)2774
E-mail: office@kurf-ho.com
URL: http://www.kurf-ho.com